

ところ会 3 月行事案内

中山道を歩く（巣鴨～志村一里塚）

中山道は日本橋から神田、御茶ノ水、本郷通り、巣鴨までが約 7km です。今回は巣鴨から板橋宿を通過して志村一里塚まで行ってみましょう。

記

■日 時：平成 28 年 3 月 11 日（金）8 時 30 分集合

■集合場所：所沢駅池袋行ホーム 中央階段下

■見学場所及び時間：コース全長約 7km

所沢駅(8:35 準急)…池袋経由…JR 巣鴨駅(9:18)

⇒眞性寺⇒とげぬき地蔵⇒庚申塚⇒近藤勇墓所⇒11:30 昼食

⇒板橋宿⇒縁切り榎⇒志村一里塚⇒志村三丁目（三田線）

⇒巣鴨、池袋経由 所沢（16 頃帰着予定）

■交通費（所沢から）：約 1,180 円

■昼食 <グラッチェガーデンズ>（11：30～12：30）

メニュー情報：http://www.skylark.co.jp/grazie_gardens/menu/index.html

■散策先簡単ガイド

<眞性寺：江戸六地蔵>

江戸六地蔵の一つと知られる醫王山東光院眞性寺は真言宗の寺で開基は不明分ですが、聖武天皇（724～749 年）勅願。行基菩薩が開いたものと伝えられています。

眞性寺のお地蔵様は高さ 2.7m で約 300 年前の正徳 4 年（1714）に江戸六地蔵の 4 番目に建立されたもので、都の有形文化財に指定されています。



※1 江戸六地蔵：宝暦 8 年から 14 年間（1706～20）で江戸の出入口 6 箇所（東海道：品川、奥州街道：浅草、甲州街道：新宿、中山道：巣鴨、水戸街道：白河、千葉街道：富岡）に丈六の地蔵菩薩坐像が造立された。

第1番の品川寺だけは笠を被っていません。2番以降は笠を被ってるので、屋外なので笠を被っていただこうと途中から考えたのでしょうか。2014年5月に行った西日暮里の富士見坂を登った所の浄光寺に「銅造地蔵菩薩像」があり、江戸六地蔵の一つと説明がありました。これは江戸東部六地蔵と言って少し前の元禄4年(1691)に建てられたものです。

<高岩寺：とげぬき地蔵>

「とげぬき地蔵尊」の名で親しまれるこのお寺は、正式には曹洞宗萬頂山高岩寺といいます。慶長元年(1596)に江戸湯島に開かれ約60年後下谷屏風坂に移り巣鴨には明治24年(1891)に移転してきました。

ご本尊は「とげぬき地蔵」として靈驗あらたかな延命地蔵菩薩です。こちらの地蔵菩薩様は秘仏ですので拝見することはできませんが、そのお姿を元に作られた御影(おみかげ)に祈願してもご利益があるとされています。御影は縦4センチ横1.5センチの和紙の中央に尊像が描かれており、痛いところに貼ったり、のどに骨が刺さったとき飲んだりすると治るといわれます。高岩寺本堂で授与しています。

洗い観音：明暦の大火で妻をなくした当寺の檀徒の一人「屋根屋喜平次」は、その供養のため、「聖観世音菩薩」を高岩寺に寄進しました。この聖観世音菩薩像に水をかけ、自分の悪いところを洗うと治るという信仰がいつしかうまれました。これが「洗い観音」の起源です。昔はタワシで洗っていたので、初代はすっかり摩耗し現在は2代目。今はタオルなどで拭いているようで100円でタオルを売っています。

こちらはとげぬき地蔵ではありませんよ！

<巣鴨庚申塚(猿田彦大神)>

巣鴨庚申塚は江戸時代には中山道の立場として栄え、旅人の休憩所として簡単な茶店もあり、人足や馬の世話もしていました。江戸名所図会ではそれらの様子がにぎやかに描かれています。

ここは中山道板橋の宿場にも近く、右に向かえば王子、花の名所「飛鳥山」にでる王子道の道標を兼ねた庚申塔が建っていました。

現在は庚申堂に猿田彦大神を合祀しています。猿田彦大神とは日本神話



に登場する神様で、天孫降臨の際に道案内をしたということから道の神、旅人の神とされるようになり道祖神と同一視されました。

そして庚申から申=猿となって猿田彦と庚申信仰が江戸時代後期に結びついてきました。入り口に「**中山道庚申塚、猿田彦大神庚申堂**」の碑が立っています。

<都電荒川線> 早稲田から三ノ輪橋の間を走る路面電車、400円で一日乗り放題です。



<延命地藏尊>

中山道で行き倒れた人や馬の亡骸(なきがら)を供養するために元禄11年(1698)に建てたもので、下から人や牛馬の骨が出てきたと言われます。

<千川上水>

千川上水は元禄9年(1696)小石川の白山御殿、湯島聖堂、上野寛永寺、浅草寺御殿と下谷浅草方面の江戸市民の飲料水のために玉川上水を分水した浄水です。千川上水調節池跡の公園でちょっと一息入れましょう。

なお、この付近を「掘割」と呼んでいますが、これは、慶応元年(1865)に、幕府が滝野川村に建設した反射炉の水車利用のため、王子方面への分水(王子分水)を開削する際に堀をつくったことに由来しています。明治十三(1880)年、岩崎弥太郎らが設立した千川水道株式会社によって、本郷・小石川・下谷・神田方面への給水が再開されると、王子分水との分配堰が設けられました。分配堰碑の南側の道がかつての千川上水です。

<板橋刑場と近藤勇墓所>

板橋刑場は、江戸時代末期に現在の板橋区板橋および北区滝野川付近に一時的に存在した。当時の中山道板橋宿手前の平尾一里塚付近だった。

新選組隊長近藤勇墓所

新選組は鳥羽伏見の戦いに敗れ敗走した。近藤勇は流山で新政府軍に包囲され自刃しようとしたが、土方が止め投降しました。近藤勇は新政府軍本陣のあった



板橋宿に送られ、平尾宿脇本陣で 20 日間留置された後、板橋宿の入り口にあった平尾一里塚近くの馬捨場（現在の北区滝野川）で斬首された。首級は京に運ばれ三条河原にさらされ、胴体はここに葬られた。なお、供養碑の「近藤勇宜昌」は、正しくは「昌宜」です。右側面には戦死者 40 名、左側面には病死者、切腹、変死、隊規違反で処刑された人 64 名の名が刻まれている。塔の左には無縁仏があり、右隣には慶応 4 年に作られた近藤勇の墓が、そして塔の建立者・永倉新八の墓もある。但し、塔については松本良順が建てたとする説も存在する。また、五稜郭で戦死した土方歳三の供養碑もある。

<板橋宿>

板橋宿は 3 つの宿場の総称であり、江戸側から下宿（平尾宿）、仲宿（中宿）、上宿があった。上宿と仲宿の境目は地名の由来となった「板橋」が架かる石神井川であり、仲宿と平尾宿の境目は観明寺付近にあった。

<平尾の一里塚>

日本橋から 2 里の平尾宿には道中 2 つ目の平尾の一里塚があったが、今は何も残されていない。

<昼食 グラッチェガーデンズ>（11：30～12：30 予定）

イタリアンですがハンバーグ等もあります。メニューから各自自由に注文して下さい。

メニュー情報：http://www.skylark.co.jp/grazie_gardens/menu/index.html

<東光寺>

青面金剛のみごとな彫刻がほどこされた寛文 2 年（1662）の庚申塔や、江戸時代に平尾一里塚上にあったと伝わる石造の地蔵菩薩座像、明治時代になって板橋に移り住んだ子孫が建てた戦国時代の武将宇喜多秀家の供養塔があります。庚申塔、石造り地蔵菩薩像は区指定有形文化財。

<観明寺>

赤門：加賀藩下屋敷の門を移築したもの。加賀前田家は本郷に上屋敷を持ち、板橋区加賀 1 丁目、2 丁目から板橋 3 丁目、4 丁目に及ぶ 21 万坪の

下屋敷を持っていました。青面金剛があるものとしては都内最

寛文元年（1661）に建設された板橋区最古の庚申塔（区指定有形文化財）があり、手にはショケラを持っています。境内の出世稲荷社も加賀藩下屋敷にあったもの。龍の彫刻は左甚五郎作と伝えられる。



<遍照寺>

江戸初期以前の創建とされる遍照寺は、明治4年に廃寺となったが、現在は成田山新勝寺末寺となっています。江戸期にはその境内が馬つなぎ場となっていた。ここで開かれる馬市は明治40年（1907）頃まで続いており、寛政10年（1798）建立の馬頭観音像が名残を留める。なお、現在は廃寺となり別の寺が建つようです。

<板橋宿 本陣・脇本陣跡>

本陣は仲宿に1軒、脇本陣は各宿に1軒ずつ計3軒が設けられていました。

□平尾宿脇本陣跡：脇本陣豊田家の屋敷跡、豊田家は代々市右衛門を世襲し、名主も兼ねました。近藤勇が処刑までの間監禁され、また、江戸時代に見世物となったペルシャ産のラクダが逗留したこともあります。

□板橋宿本陣跡：代々新左衛門を世襲した本陣飯田家の屋敷跡です。参勤交代で通行した大名や幕府の公用の武士、僧や公家などが休憩しました。

□中宿脇本陣跡：代々、宇兵衛家を世襲し、板橋宿中宿名主を務めた脇本陣飯田家の屋敷跡。徳川家茂へ降嫁する皇女和宮が宿泊し、また明治初年に大宮氷川神社に行幸する明治天皇が休憩しました。

□問屋場跡：板橋手前の橋本酒店が問屋場跡です。

□新月堂 板橋最中：本陣斜め向かいの新月堂には板橋の形を最中にした板橋最中があります。



<縁切り榎>

いつの頃からか、この木の下を嫁入り・婿入りの行列が通ると、必ず不縁になるという信仰が生まれ、皇女和宮の時は榎を菰で包み、その下を通って板橋本陣に入りました。

逆に、横暴な夫から逃れたい女性はこの木に触れたり、樹皮を細かく削って茶や酒に混ぜて飲んだりすると望みが叶えられるという言い伝えもあります。現在では、難病との縁切りや良縁を結ぶという信仰もあるそうですが、絵馬に書かれている願いはまるで昼ドラを見ているようなとても恐ろしい願いも書かれています。



本蓮沼駅 ここから次の志村一里塚までは 950m あります。電車は約 6 分間隔でありますので、疲れた方はここから地下鉄に乗って次の志村坂上まで電車に乗ってもいいです。でも、中山道を歩こうと思う人はここで電車には乗らないですね。 (注：中山道歩きは有志対象に山本検討中)

<志村一里塚>

板橋区内に残る志村一里塚は、日本橋から 3 里目に設置されたものです。2 基一対の塚が、今日でも石垣と木（榎）をそのままにほぼ完全な形で保たれており、**最も保存状態のよい一里塚跡**の一つとして知られています。

一里塚は里程や人馬・駕籠の運賃支払いの目安となり、旅人の休み場ともなった。都内にはもう一つ北区西ヶ原に日光街道の西ヶ原一里塚がある。



<帰路>

志村坂上（三田線）⇒巢鴨（山手線）⇒池袋（西武線）⇒所沢

所要時間：約 1 時間

帰着時間：16 時予定

以上